

焼菓子、中華まん部門は堅調に推移。和生菓子は消費期限延長で下期回復期す

	第1四半期	第2四半期	上半期
連結売上高（前期比）	179億円（98.2%）	158億円（98.2%）	337億円（98.2%）

和生菓子 (152億円、95.9%)

- ・「団子」、「饅頭」、「ホットケーキ」が苦戦。
- ・科学的根拠に基づき、6月15日から消費期限の1日延長を実現。延長後の売上急回復。

蒸しパン (74億円、99.2%)

- ・主力の「北海道チーズ蒸しケーキ」が苦戦。
- ・昨年11月に品質改善を図った「三角蒸しパン」や、5月に発売した夏向けの「メロン蒸しケーキ」、「マンゴー蒸しケーキ」が売上伸ばす。

焼菓子 (35億円、101.0%)

- ・昨年11月に「メルガ」を配合して品質向上図った単品「グッテ」は回復。
- ・アーモンドパウダー配合の高品質の「いちごブッセ」が売上伸ばす。

中華まん (43億円、101.9%)

- ・具材に生野菜を使用して、味や食感を改善図った「具たっぷり」シリーズ寄与大。秋以降の本格シーズンに向け、肉の食感や野菜の旨味をアップさせ、下期の拡販を図る。

■和生菓子

<消費期限を延長した和生菓子製品>



(豆いっぱい大福)



(あんたっぷりどら焼)

■蒸しパン



(三角蒸しパン)



(メロン蒸しケーキ)



(マンゴー蒸しケーキ)

■中華まん



(具たっぷり肉まん)

■焼菓子



(コーヒーブッセ)



(いちごブッセ)

※各製品の（ ）内は山崎製パン単体での売上高と前期比